

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-22
☎042-724-2171
2期連続トップ当選

平均年齢 50 歳の国を考える

広告代理店・博報堂の方のお話を聞く機会がありました。日本人の平均年齢が増大していくこと、単身所帯が急速に増大していくことなどが述べられました。資料もいただきました。2025 年には日本人の平均年齢が 50 歳直前 (49.3 歳) になる予想が記載されていました。1975 年に日本人の平均年齢が 32.5 歳であったことからすると、その高まりが著しく大きくなっていることが分かります。もっとも話では、その後も無限にその平均年齢が増加していくかと言えば、意外とその年齢は 50 歳ほどで定着するそうです。



そこで、私の世代 (1947-9 年生れ) の大方がいなくなった 2040 年頃の様相はどのようなものだろうと考えました。その時代は団塊ジュニアがすでに高齢の域に達しているが、はるかに平準化しており、その時代に即応した生活を現在から先取りすれば、ジェットコースター的な変化は和らげることが可能だと考えました。要は団塊の世代が受容すべきことを受容すれば、日本が抱える大方の問題は解消していくのではないかと思います。この私の世代はそうした順応力を持っています。

児童虐待問題と医療現場

私が参加する超党派地方議員の勉強会「清溪セミナー」が 11 月 17-18 日に開催されます。多様なテーマがありますが、その中で、「児童虐待問題に切り込む～医療の現場から見える課題～」の講演が行われます。通常のように、一人の著名な講師が講演する形式ですが、今回はチームの医師と児童虐待専門コーディネーターの方が、一緒に講演を行う形式です。福岡県の筑豊地区最大の病院でかつ、民営の (株) 麻生飯塚病院の小児科診療部長と上記コーディネーター 2 名が講師です。

この麻生病院は麻生副総理の麻生グループが運営するもので、炭鉱経営に端を発する時代からの伝統ある大病院です。地域医療にも重要な役割を担っており、地元飯塚市の「要保護児童対策協議会」にも病院として参加しています。先のように、飯塚市は旧炭鉱都市であり、貧困世帯が伝統的に多いことも課題となってきた地域ですが、この児童虐待の問題はそうした貧困ともつながってきたこともあるそうです。現在では、児童虐待が平穏に見える環境でも発生しており、その防止は行政にとっても重要な課題になってきました。議論の場となることを願っています。



無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

HP <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



QRコードで
メール送信が
できます

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート②武者小路 麻理

今日は様々な場所を訪れ、どの場所でもそれぞれ業界で働く方々から内情等の興味深いお話を伺いましたが、一番印象に残ったのは地元紙を発行しているショッパー（東京新聞系フリーペーパー・地域別に発行）の社員の方から聞いたお話です。

「ショッパー」は広告を多く掲載している新聞を発行している会社ですが、広告を仕入れることは大変ではないのかと気になっておりました。どのように探しているのか、そう尋ねると、ショッパーの広告代理店の女性社員の方は、事もなげに「町を歩き回り時にはインターネットを使って情報収集をして、新規開店の場所など、広告が出せそうなところを探している」と回答されました。言う事は簡単でもやる事は難しいと、社会に出ていない自分でも分かります。そしてもう一人、話の場に同席してくださったショッパーの社員の方は、「会社を売り込むのではなく、最早自分を売り込む」と仰っていました。それらは、お二人が会社に勤める人として何年もキャリアを積んだからこそ出た言葉だと感じました。」（*同社にコンサート開催の広告依頼）



昭和女子大 3 年 武者小路麻理(第 38 期生)
白百合女子大 3 年 小林加苗(第 38 期生)

研修レポート② 小林 加苗

ピアノデュオ・クトロヴァッツコンサートの広報活動の1つである、地域新聞ショッパーさんを訪ねました。ショッパーさんは発行されるその地域に根付いた情報を発信しています。私の地元である埼玉県内でもこの新聞が配布されており、とても馴染みのある新聞でしたので、実際に会社訪問出来ることに喜びを感じていました。また、実際の広報活動を目の当たりし、新聞の中では小さな枠の1つかもしれない広告を掲載する苦勞と努力、そして関わる人々の思いを感じる事ができました。ショッパーさんは毎週発行される新聞です。読者の方のために毎週新しい情報を載せることだけではなく、広告を載せてほしいという依頼主の気持ちも大切にし、その全てのバランスを保つことで良い新聞が出来るのだと実感しました。また、ショッパーさんが地域に根付いている理由もそこにあると感じました。

また、実際に働いている方に質問をするという機会も設けていただきました。広告業界というのはとても大きくて私自身も漠然とした想像しかしていなかったのですが、実際に働いている方ならではの視点、考えを知る事ができてとても貴重な時間となりました。さらに、働くということはその人の人生を大きく変化させるものだと感じました。それは良い意味でも悪い意味でもありますが、様々な経験を積めるということは生きているうえで財産になるのではないかと思います。私はまだまだ人としても大人としても未熟ですが、このインターンシップを通して少しでもステップアップし、経験という財産を少しでも増やしたいと考えています。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)